

広島交響楽団 ディスカバリー・シリーズ

Hiroshima Symphony Orchestra Discovery Series

ベートーヴェン生誕250周年交響曲シリーズ

Hosokawa × Beethoven

7

「被爆75年」「ベートーヴェン生誕250年」が交差する2020年。
広島にとってかけがえのない二人の作曲家の出会いを下野・広響がプロデュースする
〈Hosokawa × Beethoven〉シーズンⅡ

2020.10.2 [金] 18:45開演 (17:45開場) **JMSアステールプラザ大ホール**

Fri Oct 2, 2020 Start 18:45 (Open 17:45) JMS ASTER PLAZA

program

ベートーヴェン: 序曲「命名祝日」作品115

Beethoven: Namensfeier, Overture Op.115

細川俊夫: 昇華 チェロとオーケストラのための (日本初演)

Toshio Hosokawa: Sublimation for Cello and Orchestra (Japan Premiere)

ベートーヴェン: 交響曲第7番イ長調作品92

Beethoven: Symphony No.7 in A major Op.92

コンサートミストレス: 蔵川 瑠美 Concertmistress: Rumi Kurakawa

■ チケット料金 / S席:5,300円 A席:4,300円 B席:3,300円 (学生:1,000円)

※学生席は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみ取扱い)

■ チケット取扱い / JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、ローソンチケット(Lコード:62808)、

チケットぴあ(Pコード:175-016)、広響事務局

主催 / 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社 共催 / 公益財団法人広島市文化財団

協賛 / 中国電力、広島銀行、広島電鉄、マツダ 後援 / 広島市、広島市教育委員会



HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA
～“讃” 平和を讃えて～

指揮: 下野 竜也

Conductor: Tatsuya Shimono

チェロ: 岡本 侑也

©Shigeto Imura

Violoncello: Yuya Okamoto

助成 /



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



公益財団法人アフィニス文化財団

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。 ※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

お問い合わせ / 広響事務局 TEL: 082-532-3080 E-mail: info@hirokyo.or.jp http://hirokyo.or.jp/

新型コロナウイルス感染防止対策
について皆様への協力のお願い



広島交響楽団 ディスカバリー・シリーズ

Hiroshima Symphony Orchestra Discovery Series

ベートーヴェン生誕250周年交響曲シリーズ Hosokawa×Beethoven

7

指揮：下野 竜也 *Conductor : Tatsuya Shimono*

広島交響楽団音楽総監督(2017年4月就任)
1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール〈指揮〉優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年プザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。
国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、チェコ・フィル、シュトゥットガルト放送響、ロワール管、南西ドイツフィル、シリコンバレー響をはじめとした国際舞台での活躍が目覚ましい。
2006年に読売日本交響楽団初代正指揮者に迎えられ、2013年4月から2017年3月まで同団の首席客演指揮者を務める。その間、2011年には広島ウインドオーケストラ音楽監督、2014年4月には京都市交響楽団常任客演指揮者に就任。2017年4月より同団常任首席客演指揮者に就任(2020年3月まで)。
2002年出光音楽賞、渡邊曉雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、2016年南日本文化賞・特別賞などを受賞。
鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。
京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。
公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>



チェロ：岡本 侑也 *Violoncello : Yuya Okamoto*

2017年エリザベート王妃国際音楽コンクールのチェロ部門第2位・イザイ賞。
2011年第80回日本音楽コンクールチェロ部門第1位。
第25回(2014年度)新日鉄住金音楽賞フレッシュアーティスト賞、第16回(2017年)齋藤秀雄メモリアル基金賞、第28回(2017年度)出光音楽賞、第20回(2018年度)ホテルオークラ音楽賞受賞。
東京オペラシティB→Cなどでのリサイタル、王子ホール“MAROワールド”等の室内楽、ワディム・レーピンらと共演した東京でのトランス=シベリア芸術祭、クロアチアでの音楽祭、イザイ音楽祭ジャパン、ボリーニ・フェスティバル、東京・春・音楽祭、尾高忠明、高関健、ユベール・スダーン、ステファヌ・ドゥネーヴ、オーギュスタン・デュメイ等の指揮者、国内外のオーケストラとの共演、テレビ出演と活躍の幅を広げる、今世界が最も注目する1994年生まれのチェリスト。2019年秋にはイタリアと日本でピアニストのクリスチャン・ツィメルマンとブラームスのピアノ四重奏曲を共演し、両国で大きな成功を収めた。
(公財)江副記念リクルート財団第42回奨学生。(公財)ROOM音楽財団2013年度・2014年度奨学生。
これまでにH=J.ゼーフルート、山崎伸子、W=S.ヤン、J.シュテッケルの各氏に師事。ドイツ・ミュンヘン音楽大学を首席で卒業。同大学大学院ソロ科も首席で修了し、現在は室内楽科でアナ・チュマチェンコとハリオルフ・シュリヒティ両氏のもと研鑽を積みながら、第一線で演奏活動を展開しています。



©Shigeto Imura

Affinis
emblème

下野竜也と広島交響楽団による「ベートーヴェン生誕250周年交響曲シリーズ」2シーズン目。各回ベートーヴェンの交響曲を番号順に一曲ずつ、それに地元広島市出身の細川俊夫の作品を組み合わせる。会場は、1200席のJMSアステールプラザ大ホール。ベートーヴェンのみならず、細川作品もじつに親密さをまとう響く。現代作品であることをさほど意識させることなく、音楽そのものに耳を傾けることができる素晴らしい機会だ。今シリーズは福川伸陽などソリストも豪華。洗練と躍動する下野のスタイルが、広響ならではのソフトな響きと相まって、自然な呼吸感が宿ったベートーヴェンを生み出す。このオーケストラでは、当シリーズで初めてブライトコプフ新版を使用したこともあり、慣れているはずの作品にも新鮮な気持ちで取り組んでいることは、これまでの演奏からもよく伝わってくる。6月公演では、習作であり、滅多に演奏されないピアノ協奏曲第0番を小菅優と協演するのも大きな話題だ。

(アフィニス文化財団 オーケストラ助成委員 鈴木 淳史)

次回ディスカバリー・シリーズのご案内

ベートーヴェン生誕250周年交響曲シリーズ Hosokawa×Beethoven 8

2020.12.17 (木) 18:45開演 (17:45開場) JMSアステールプラザ大ホール

指揮：下野 竜也 ホルン：福川 伸陽

Program

ベートーヴェン：劇音楽「アテネの廃墟」作品113序曲
細川俊夫：ホルン協奏曲一開花の時一
ベートーヴェン：交響曲第8番へ長調作品93